

乳幼児健診事後措置のシステム化に関する研究

—乳幼児健診およびその事後措置を充実するための具体的対策について—

乳幼児健診の事後措置に関する研究

第2報 精密健診票の発行及びフォローアップの
実態、並びにフォローアップの程度を左右
する要因について

表 1 都内乳児・3歳児健診実施状況 (54年度)

ブロック	健診別	対象数(A)	受診数(B)	受診率 (B/A×100)	精検票 発行数(C)	発行率 (C/B×100)
1	乳 児	6497	5480	84.3	81	1.5
	3歳児	6530	5124	78.5	129	2.5
2	乳 児	10512	9038	86.0	111	1.2
	3歳児	8910	6987	78.4	252	3.6
3	乳 児	26392	24129	91.4	396	1.6
	3歳児	27521	21570	78.4	625	2.9
4	乳 児	22252	20401	91.7	218	1.1
	3歳児	20640	17466	84.6	433	2.5
5	乳 児	19559	18761	95.9	355	1.9
	3歳児	20482	17947	87.9	483	2.7
6	乳 児	45171	37541	83.1	1023	2.7
	3歳児	49067	41422	84.4	1004	2.4
計	乳 児	130383	115350	88.5	2184	1.9
	3歳児	133150	110516	83.0	2926	2.6

表 2 精密検診後問題があり医療機関に送ったもののフォローアップ

フォローアップの方法	保健（相談）所数	率（％）
特にしていない	1	1
経過観察外来に呼ぶ	2	3
保健婦の判断で訪問する	34	42
経過観察外来と訪問	27	33
その他	13	16
方法不明	5	6
計	82	100

表3 精密健診票発行後の追跡結果不明の状況

	乳児	3歳児
不明の割合	1619件中 不明55件(3.4%)	2329件中 不明183件(7.9%)
不明の内容	転出 40.0% カード行方不明 12.7% 放置 7.3% その他 40.0%	転出 29.0% カード行方不明 4.9% 放置 19.7% その他 40.4%
疾病上問題があり結果不明であったもの	心雑音 1件	小柄 1件 心音異状 1件 けいれん3回経過 1件

表4 精密健診票を発行された児のfollow up 状況の組み合わせ

乳児健診	3歳児健診	保健所・相談所数	
A	A	39	
B	B	6	
C	C	15	(73.2%)
A	B	12	
A	C	3	
B	A	3	
B	C	1	
C	A	3	
C	B	0	(26.8%)

計 82

グループA: follow up はうまく行なわれている

グループB: follow up はあまりうまく行なわれていない

グループC: follow up はうまく行なわれていない

表5 精密健診票を発行された児のfollow up の成否との関連がみられなかった項目

職員一人あたり所轄面積

保健婦一人あたり所轄面積

職員一人あたり所轄人口

職員一人あたり乳幼児健診対象者数

乳幼児健診受診率

保健婦の家庭訪問に占める乳幼児関係訪問の割合

保健所長の男女別

保健所・保健相談所別

図1 精密健診票発行率

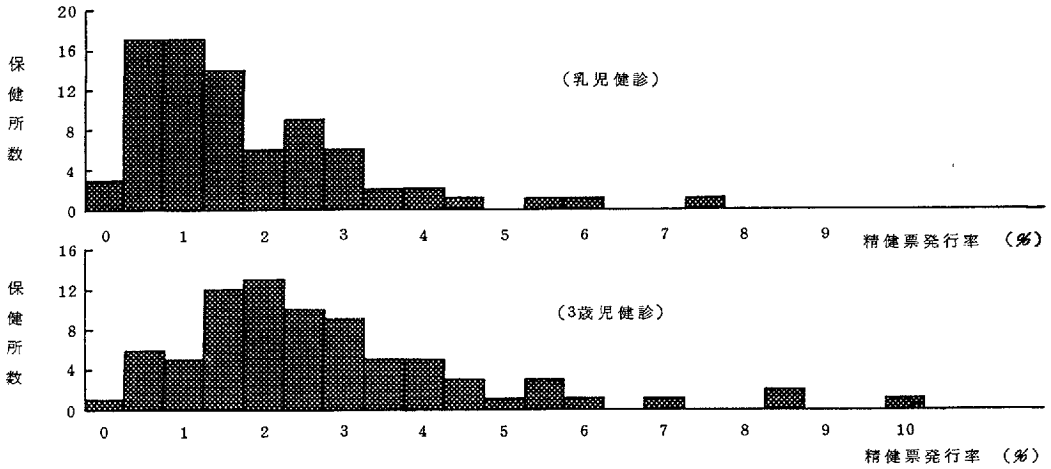


図2 精密健診票を発行された児のfollow up 状況

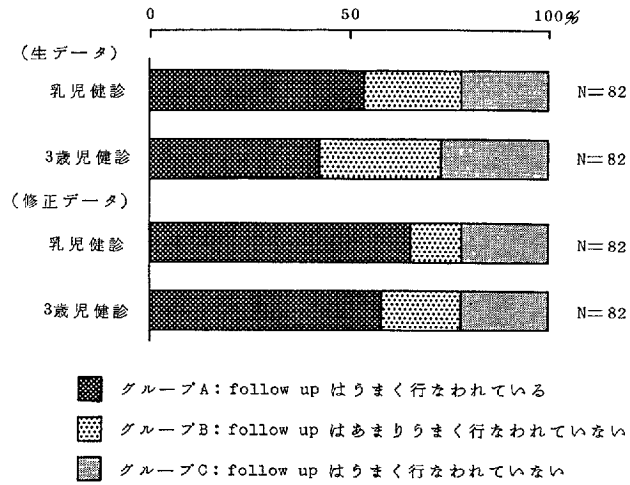


図3 乳児精密健診票を発行された者の
follow up状況の地理的分布

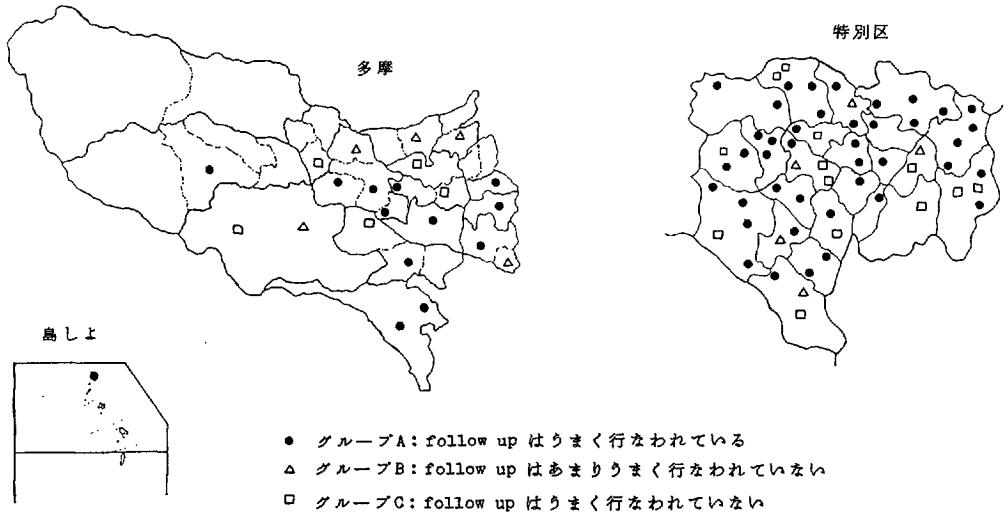


図4 3歳児精密健診票を発行された者の
follow up状況の地理的分布

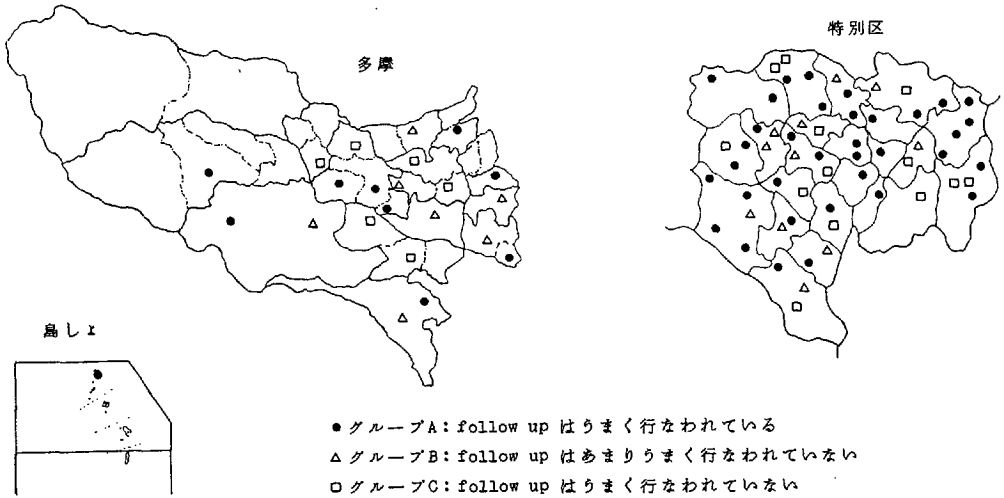


図5 保健婦一人あたり人口とfollow upの成否との関連

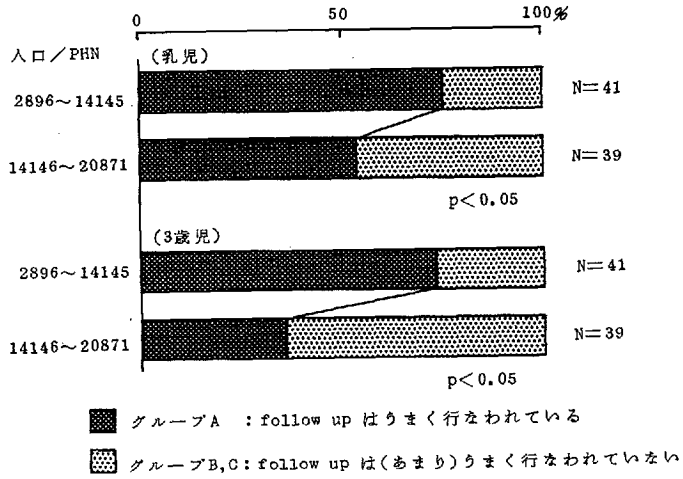


図6 保健婦一人あたり乳幼児健診対象者数とfollow upの成否との関連

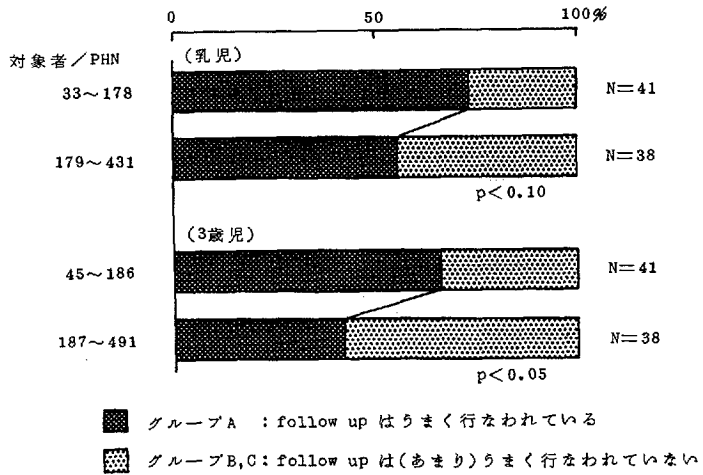


図7 精密健診票発行数とfollow up の成否との関連

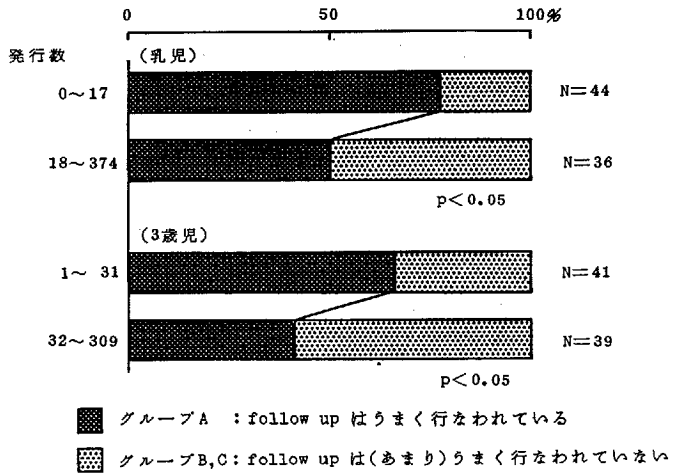
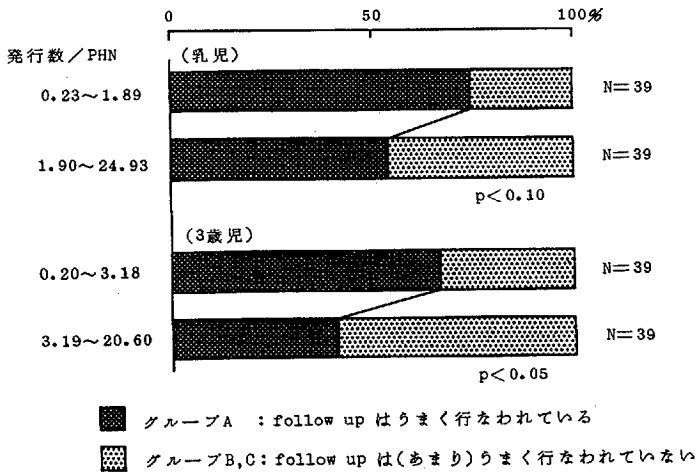


図8 保健婦一人あたり精密健診票発行数とfollow up の成否との関連



事後措置のあり方に関する研究

図 1.

事後指導票		父 氏名			母氏名			保健所	
		担当	種別	市町村	父	母	指導方針	転帰	
発見 動機	初・経()	才	・	・	・	・	・	・	
妊婦 氏名	男子	才	・	・	・	・	・	・	
児 氏名	男子	才	・	・	・	・	・	・	
住所	TEL	才	・	・	・	・	・	・	
筆頭者	ハイリスク因子	才	・	・	・	・	・	・	
受療疾病	1. 高年・若年 2. 反復流死産 3. 新生児異常 4. 障害児 5. 妊娠中毒症 6. 異常分娩 7. 異常分娩 8. 血族結婚 9. 遺伝性疾患 10. その他	才	・	・	・	・	・	・	
1. 結核	1. 養育医療	日付	才	・	・	・	・	・	
2. 性病	2. 小児慢生	日付	才	・	・	・	・	・	
3. 心臓疾患	3. 育成医療	日付	才	・	・	・	・	・	
4. 腎疾患	4. 身障手帳	日付	才	・	・	・	・	・	
5. 婦人科	()	日付	才	・	・	・	・	・	
6. 貧血	5. 療育手帳	日付	才	・	・	・	・	・	
7. 糖尿	6. 生保	日付	才	・	・	・	・	・	
8. 尿分泌	7. 特児扶養	日付	才	・	・	・	・	・	
9. 内分	8. ヘルパー	日付	才	・	・	・	・	・	
10. その他	福祉教育機関連携	日付	才	・	・	・	・	・	
妊婦経過異常	新生児異常	日付	才	・	・	・	・	・	
	在胎	日付	才	・	・	・	・	・	
	体重	日付	才	・	・	・	・	・	
	g	日付	才	・	・	・	・	・	

図 2.

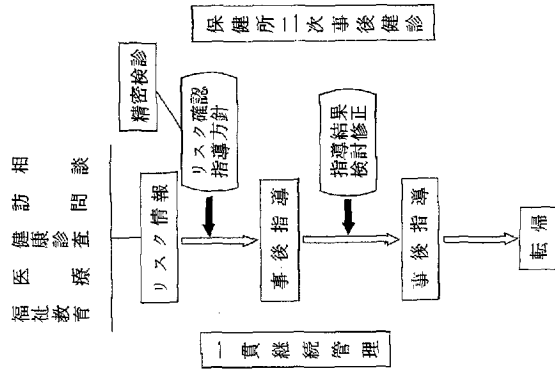
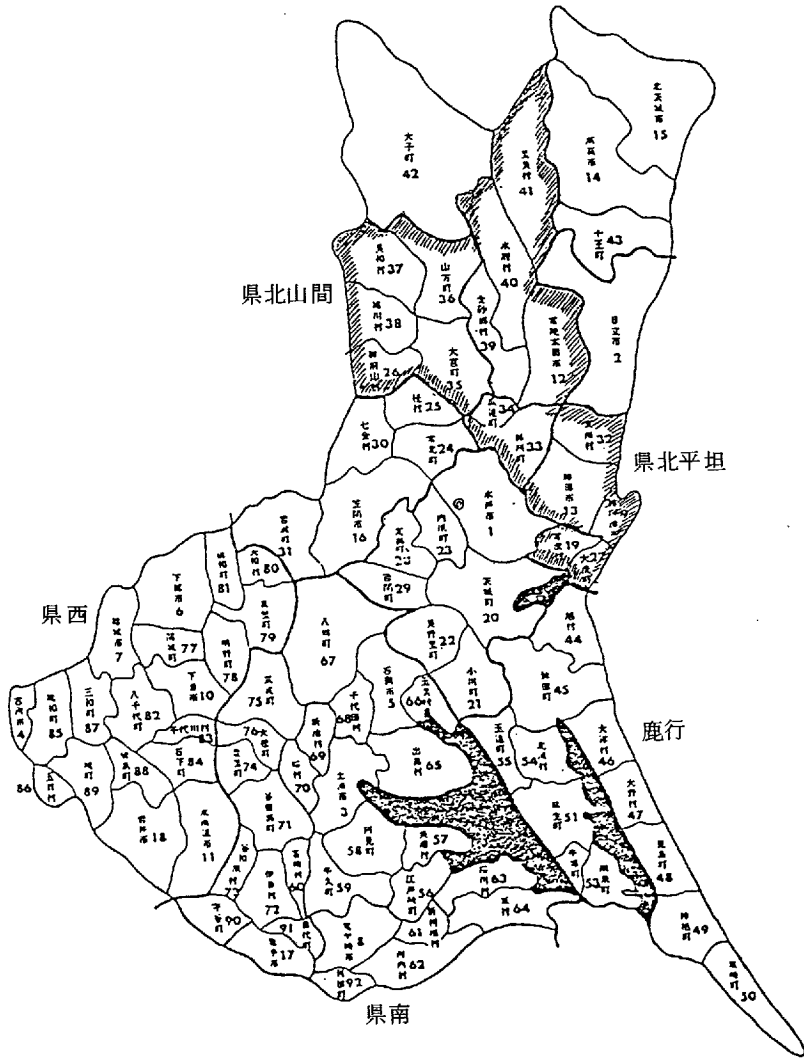


图 3



茨城県全図

一保健所における乳幼児健診の
事後措置の実態調査

1982年2月現在

表2 3歳児健診の事後措置 (1978.1月~6月生)

総数 1,350名 有所見者実数 159名 (11.8%)

疾病	<健診前>										<現在>						
	総数	訪問	経観	要精密	他機関受診	訪問	一時指導	経過観察	心理	異常なし	除外	訪問中	経観中	要援助児	他機関管理	不明	転出
神経系の疾患	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0
けいわん性の疾患	38	0	0	5	23	5	6	1	0	1	21	3	0	0	14	0	1
感覚器の疾患	11	0	0	6	5	0	0	0	0	0	7	0	0	0	4	0	0
発達・発音・言語の問題	36	1	0	1	1	5	0	4	28	0	12	4	13	0	4	5	0
精神・心理の問題	13	1	0	0	0	7	2	1	7	0	9	1	0	0	0	1	2
先天異常	25	1	0	8	10	4	4	0	1	1	8	4	1	2	16	1	0
皮膚の疾患	12	0	0	2	8	1	2	0	0	0	4	0	0	0	7	1	0
慢性の疾患	19	0	0	4	8	1	4	1	0	0	10	0	0	0	9	0	0
保育・保育者の問題	9	0	0	0	0	7	0	0	2	0	2	4	0	1	0	3	0
その他	7	0	0	3	1	0	3	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
延数	172	3	0	30	57	31	21	7	38	2	80	17	14	3	56	11	3

表1 乳児健診の事後措置 (1981.1月~6月生)

1982年2月現在

総数 1,325名 有所見者実数 249名 (18.8%)

疾病	<健診前>										<現在>					
	総数	訪問	経観	要精密	他機関受診	訪問	一時指導	経過観察	異常なし	除外	訪問中	経観中	要援助児	他機関管理	不明	転出
低出生体重児	57	40	0	0	1	2	20	10	14	45	6	4	1	4	0	1
周産期異常	24	6	1	3	1	2	4	6	1	17	5	1	1	4	0	0
神経・感覚器系の疾患	11	0	1	1	5	1	0	5	0	6	2	0	3	5	0	0
発達・発育の問題	76	12	2	1	3	3	2	63	2	61	2	7	0	0	3	2
先天異常	36	3	0	1	10	2	12	8	1	25	1	2	2	7	2	1
循環系の疾患	11	1	1	4	4	0	0	1	0	5	0	0	1	5	0	0
循環系の疾患	49	1	1	25	11	0	0	13	0	44	0	0	0	4	1	0
整形外科の疾患	23	1	1	9	3	1	6	3	3	18	1	2	1	3	0	0
皮膚の疾患	21	3	1	0	0	16	1	0	0	13	6	0	5	1	0	0
保育・保育者の問題	10	1	0	1	5	0	2	0	0	6	0	0	1	4	0	0
その他	318	68	8	45	43	27	47	109	21	240	23	16	15	37	6	4

表4

表3 未来所者に対する事後措置

	乳 健 1981.1~6.	3 歳 健 1978.1~6.
総 数 (人)	1,325	1,350
受 診 者 数 (人)	1,203	1,294
受 診 率 (%)	90.8	95.6
未来所者数 (人)	122	56
未来所者の中で異常なし	86	26
有所見者 (人)	19	3
有所見率 (%)	18.1	10.3
電話にてコンタクトを得る	49	14
ハガキ " (件)	43	10
訪 問 " (件)	40	21
接触なし (人)	8	14
他機関受診者	90	23
経観呼び出し	9	0
転出あるいは常時不在	9	10
不明者数	8	17
不 明 率 (%)	0.6	1.3
(不明者数/総数)		

6カ月・9カ月健診・異常所見内訳(1981.4~1982.2)		
疾 病	6カ月健診	9カ月健診
ふとりすぎ	66人	47人
やせすぎ	22人	29人
風邪症状	23人	22人
股関節異常	30人	1人
心音異常	9人	5人
体重増加不良	9人	3人
感冒性下痢	3人	3人
便 泌		1人
喘息性気管支炎	2人	2人
首のすわりがはっきりしない	5人	
お坐りができない	2人	5人
ね返りができない	2人	
運動発達のおくれ		1人
水 頭 症	2人	1人
頭部軽度拡大	1人	1人
頭部左右非対象		1人
左 副 耳	1人	
斜 頸		1人
脊柱側彎	1人	
舌小帯短縮		1人
左手親指がのびにくい	1人	
臍ヘルニア		1人
停留睪丸	1人	1人
右そけいヘルニア		2人
足の長さの左右差		1人
外 反 足	1人	
けいれん性疾患	2人	2人
血 管 腫	1人	2人
肛門周囲膿瘍	3人	
伝染性軟属腫	1人	1人
伝染性膿痂疹		1人
驚 口 蒼	1人	
亀頭包皮灸		1人
下肢のささえが不十分		1人
足クローヌス		1人
川 崎 病	1人	
そ の 他	4人	5人
計	192人	143人

神奈川県乳幼児ケア事業

表1. 乳幼児ケア数と把握動機 (1981年4~12月)

保健所	健 診				家庭訪問	市町村から	電話相談	医療機関から	その他	計
	3か月	1歳6月	3 歳	その他						
津久井	6	4	2		11	5	3	2	17	50
足柄上	24	21	5	10	2	3	4		8	77
茅ヶ崎	33	10	2		5	4	5	2	55*	116
平塚	42	6	1	1	20	2	12		3	87
小田原	36	1	3	7	4		7	1	16	75
計	141	42	13	18	42	14	31	5	99	405

* 低出生体重児二次健診を含む

表3. 地域乳幼児ケア一月報
昭和 年 月分 保健所

	来所予定者 (A)			来所者処遇方針 (B)							未来所者 (A-B=C)									
	初診	再来	計	問題なし	保健指導	経過確認	再予約	その他	要 要	精 精	査 査	計	訪問	他 他	次 次	回 回	呼 呼	出 出	計	
当月																				
累計																				

	把握動機 (D)										計	
	健 診					家庭訪問	市町村から	電話相談	医療機関から	その他 (※注1)		
3 月	お誕生前	1才6月	3 歳	その他								
当月												
累計												

要精査・要治療としたものの疾患名又は照会理由及び紹介先を記入すること。

疾患名・照会理由	紹 介 先	疾患名・照会理由	紹 介 先

(※注1) 未熟児については、「その他」で集計すること。

(注2) 既に医師の管理下にある児が受診しその医師の治療を引き続き受けさせることとしたものについては、紹介先の後に「継続」という語をカッコ書きすること。

(注3) この月報の写しを翌月の20日までに、こども医療センター、健康普及課に各1部提出すること。

表2.

カルテNo.() 地域乳幼児ケアカード

カルテNo.()		相談年月日		年 月 日	
氏名		出生年月日		年 月 日	
住所		性別		年齢	
Tel.		出生順位		年 月 日	
家族の状況		保険者名		相談理由	
診()		妊婦中の異常		1. 検診(3か月、6か月、9か月)	
玉として検察する事()		分娩中の異常		2. 家庭訪問	
①		有() 在胎()		3. 市町村から	
②		出生時の異常		4. 電話相談	
		新生児期の異常		5. 医療機関から	
		有()		6. その他	
		既往症		(*特記を要し)	
発育		栄養			
首すわり()		か月)			
立ち上がり()		か月)			
ひとり歩き()		か月)			
言葉()		か月)			
とどろき()		か月)			
主訴		相談時計測値		計測値	
		計測項目		計測値	
		体重		kg	
		身長		cm	
		胸囲		cm	
		頭囲		cm	
医師の所見		保健婦の指導		保健婦名()	
1. 問題なし		(1) 訪問		6. 要精査・要治療	
2. 保健指導		(2) 他診		(精検受診券No.)	
3. 経過観察		(3) 電話		紹介先	
4. 母子		その他			
5. その他					

カルテ No.()

相談年月日		年齢		年 月 日	
王野		体重		kg	
		身長		cm	
		胸囲		cm	
		頭囲		cm	
医師の所見		保健婦の指導		保健婦名()	
1. 問題なし		(1) 訪問		6. 要精査・要治療	
2. 保健指導		(2) 他診		(精検受診券No.)	
3. 経過観察		(3) 電話		紹介先	
4. 母子		その他			
5. その他					

表4. 保健所別ふり分け結果

保健所	保健所で follow	他施設 へ紹介	一回指導 で打切り	計
津久井	19	15	16(32%)	50
足柄上	33	23	21(27%)	77
茅ヶ崎	49	25	42(36%)	116
平塚	18	6	55(68%)	87
小田原	18	14	51(68%)	75
計	137	83	185(45.7%)	405

表5. 保健所でfollow群の方法

Followの方法	津久井	足柄上	茅ヶ崎	平塚	小田原	計
2回以上受診	8	16	17	3	6	50
電話・家庭訪問などで継続	2	4	4	2	3	15
定期健診へ	2	1	12	6	4	25
(2月以降の受診予約)	4	11	14	6	4	39
missed follow up	3	1	2	1	1	8(6%)
計	19	33	49	18	18	137

表7. 他施設へ紹介例の診断・主訴
()はKCMCへの紹介

発育不良・低身長	9(6)
けいれん・ひきつけ	8
心雑音	7
精神発達遅延	7(2)
斜視	5
筋緊張低下	4
脳性小児麻痺	3
小耳症・副耳	3(1)

2例づつ

斜頸, 症候群(1), 弱視, 乳腺腫瘍(1), 扁桃腺肥大(1), 頭頂大, 側彎, 母斑

1例づつ

頻尿, (軟骨発育不全), (尿道下裂), そけいヘルニア, 体幹不安定, (肥満), 開排制限, 発熱, (筋ジストロフィー), ケロイド, (Down), (小奇形), 眼の動き不良, (言語障害), 合指症
分娩麻痺, 停留卵丸, あざ

表6. 保健所別紹介先機関

	津久井	足柄上	茅ヶ崎	平塚	小田原	計
KCMC	5	4	7	3	0	19
津久井日赤	3					3
北里大学	3					3
東海大学				1		1
相模原協同病院	2					2
足柄上病院		16				16
茅ヶ崎市立病院			7			7
平塚市民病院			1	6		7
平塚共済病院			1	1		2
小田原市立病院					4	4
その他の医療機関	1	2	1			4
ゆうかり園	1		3			4
福祉センター			2	1	2	5
保健所育成外来など		1	2	1		4
児童相談所			1	1		2
計	15	23	25	14	6	83

幼児健康情報－乳幼児健診受診 行動を修飾する母体側の要因

表2. 受診行動の分類

グループ名	生下時 体 重	乳幼児健診の受診状況 (3カ月/6カ月/1歳/3歳)	人 数
OUT	不明		68(8.2%)
B・0	あり	受診なし	14(1.7%)
B・1	あり	4回のうち1回受診	94(11.3%)
B・2	あり	4回のうち2回受診	108(13.0%)
B・3	あり	4回のうち3回受診	211(25.4%)
B・ALL	あり	4回すべて受診	336(40.4%)

計 831

表3. グループB・1(4回のうち1回受診)

健診別の受診割合

	3カ月	6カ月	1 歳	3 歳	計
受診者数	14	6	2	72	94
(%)	(14.9)	(6.4)	(2.1)	(76.6)	(100.0)

表4. グループB・3(4回のうち3回受診, 1回未受診)

健診別の未受診割合

	3カ月	6カ月	1 歳	3 歳	計
未受診者数	38	33	43	97	211
(%)	(18.0)	(15.6)	(20.4)	(46.0)	(100.0)

表5. 母体側の情報不明な者の割合
(受診行動グループ別)

グループ	グループ				4グループ 間で比較	B・0, B・1 とB・2, B・3 で比較
	OUT	B・0 } B・1 }	B・2 } B・3 }	B・ALL		
総 数	68	108	319	336		
母親の出産時年齢	7.4%	15.7%	1.3%	0%	○	
母親の職業	72.1%	50.0%	28.8%	32.4%		○
家族人数	79.4%	80.6%	42.0%	36.0%		○
家族類型(核拡大)	69.1%	78.7%	39.8%	34.5%		○
妊娠回数	36.8%	60.2%	7.2%	3.0%		○
出産回数	32.4%	61.1%	6.6%	2.7%		○
妊娠届出月数	85.3%	77.8%	33.9%	10.1%		○
在胎週数	72.1%	40.7%	9.1%	3.0%		○
現存児数	30.9%	59.3%	8.2%	5.1%		○

表6. 母親の出産時年齢の比較

グループ	N	MN	SD
OUT	63	26.412	3.406
(B・0,B・1)	91	28.450	4.490
(B・2,B・3)	315	27.081	4.090
B・ALL	336	26.782	4.006

$t = 2.7504^{**}$
 $d.f. = 404$
 $t = 4.315^{***}$
 $d.f. = 425$
 $t = 0.9421$
 $d.f. = 649$

表7. (B・2, B・3)群とB・ALL群との比較

	(B・2, B・3)群			B・ALL群			d.f.	t
	N	MN	SD	N	MN	SD		
家族人数	185	4.892	1.815	215	4.670	1.588	398	1.305
妊娠回数	296	2.439	1.401	326	2.340	1.356	620	0.895
出産回数	298	2.131	1.082	327	2.040	1.016	623	1.084
妊娠届出月数	211	4.815	1.316	302	4.434	1.144	511	3.487 ^{**}
在胎週数	290	39.371	1.705	326	39.296	1.880	614	0.516
現存児数	293	2.106	1.040	319	2.000	0.981	610	1.297

表8. 母親の職業と受診行動

職	(B・2, B・3)群	B・ALL群
無職	101	84
農・漁業	53	78
商業・勤務	73	65

$\chi^2 = 6.797^*$ d.f. = 2

表9. 家族類型と受診行動

家族	(B・2, B・3)群	B・ALL群
核家族	63	49
拡大家族	128	170

$\chi^2 = 5.784^*$ d.f. = 1

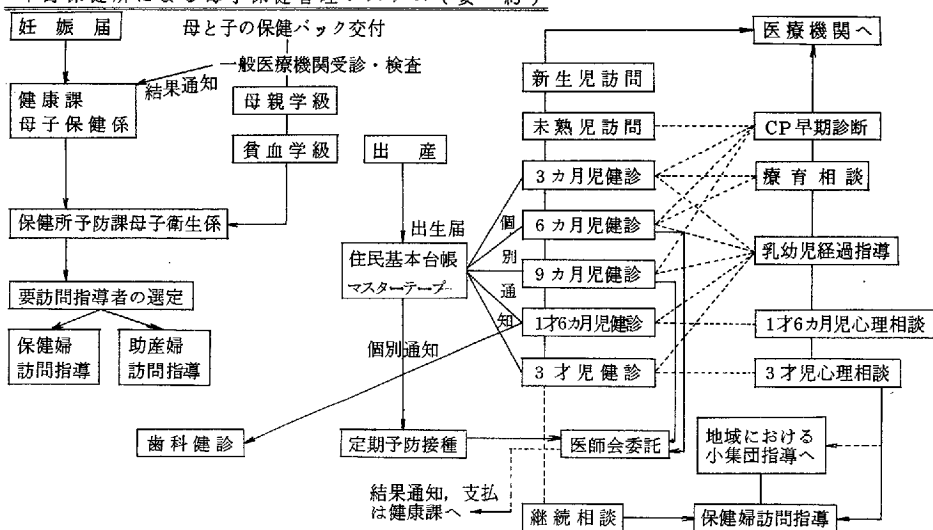
表10. 受診行動と体重発育 (kg)

	(B・2, B・3)群			B・ALL群			d.f.	t
	N	MN	SD	N	MN	SD		
生下時	319	3.197	0.445	336	3.181	0.420	653	0.473
3ヵ月時	223	6.125	0.874	336	6.090	0.833	557	0.477
6ヵ月時	242	7.724	0.999	336	7.674	0.879	576	0.637
1歳時	204	8.914	0.976	336	9.095	1.002	538	2.055 [*]
3歳時	180	14.404	1.649	336	14.267	1.677	514	0.890

健診事後措置に関する研究報告書

— 中野保健所の場合 —

図1. 中野保健所による母子保健管理システム(要約)



a. 健診をうけましたか。その時どう言われましたか。又その指導をうけたのはいつですか。

受診状態	結果	総数
未受診		2
受診	異常なしと言われた	60
	精検の要あり	42
	異常あり	26

b. 健診時の診断名は何ですか。

	要群	異常群
心疾患	3	4
腎疾患	1	0
消化器疾患	0	1
発達遅延	11	5
先天股脱	7	5
染色体異常	0	0

c. 健診の結果どういう指示をうけましたか。

	要精検群	異常群
保健所で経過観察	17	4
開業医で検査を	6	0
大病院で検査を	22	20

d. 実際にはどういう処置をうけましたか

	要精検群	異常群
保健所で経過観察	19	4
開業医で検査	6	2
大病院で検査	22	12
処置せず	0	2

e. 最終診断は何でしたか。

	心血管	けいれん	斜視	弱視	先天股脱	消化器	発達遅延	内反足	水頭症	停留嚙丸	陰のう水腫
大病院で検査をうけた群	4	3	6	2	3	1	1	1	0	0	1
保健所で経過観察の群	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0
開業医で経過観察の群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

f. 事後措置について満足していますか。

	要精検群	異常群
満足している	38	18
満足していない	4	5

g. 健診に対する御意見は

大いに満足している。	10
健診の回数をふやしてほしい	6
もっと時間をかけて診てほしい	6
健診としてのレベルが低い	7